

令和6年第2回岩沼市議会定例会が2月13日に開会し、初日に市長が市政の概要などを報告しました。主なものを掲載します。

行政改革の推進

令和4年10月の行政改革担当部署設置以降、組織や職員一人ひとりの業務効率化を図るため、大規模な組織改編を実施したほか、これまで長年にわたり課題として認識されながらも棚上げされたままとなっていた事業を含め、多方面にわたる改革・改善に取り組んできました。

今後、効果やコストを強く意識した事業の展開に努めるとともに、既存事業の徹底的な見直しによる無駄の削減やふるさと納税の拡大、企業誘致などの推進による行政改革の成果を具現化することで、市の持続的な発展に向けた道筋を示したいと考えています。

一方で、公共施設使用料の見直しなどの利用者に対する負担増となる取り組みに対しては、特に丁寧な対応が必要ですので、さまざまな方法を用いて説明を尽くしていきたいと考えています。

シティプロモーションについては、5年度をシティプロモーション元年と位置付け、市民の方をはじめ、

より多くの皆さまに市の魅力や行政情報を効果的に伝えるため、SNSなどを活用した情報発信に加え、子育て世代をメインターゲットとしたプロモーションなどを積極的に展開してきました。

6年度は、ターゲットを明確にした効果的で印象に残る情報発信をさらに強化し、市の魅力を的確に伝えることで、認知度・知名度の向上につなげていきたいと考えています。

新たな総合計画の策定状況

計画の策定に当たっては、これまで各種アンケート調査、市民会議、総合計画審議会、パブリックコメントなどを実施し、また、議員全員協議会において議員各位から意見を伺うなど、一つひとつ丁寧に歩みを進めてきました。

6年度からは新たな総合計画に基づき、将来像「ひとが集い 輝くまち いわぬま」を目指した市政運営に取り組んでいきます。

西児童センター放課後児童クラブ新分室

これまで分散していた分室の3クラブを集約し、岩沼西小学校の敷地内に整備をしている新分室については、受け入れる児童数を増やし、4

月1日から安全に開所できるように準備を進めています。



ハナトピア岩沼の指定管理者候補者の選定

指定管理者選定委員会で応募のあった3事業者の提案内容の審査を行った結果、アウドオSAD(株)(現(株)エムシーアイ)を指定管理者候補者に選定しました。

同社からは、実績やノウハウを生かした自立性の高い運営計画やイベントに関する魅力的な提案をいただきました。

今後は、同社と事業内容を協議しながら、多くの皆さまに満足いただけるよう、8年度のリニューアルオープンに向けた準備を進めていきます。

学校給食費の見直し

学校給食費については、急激な物価上昇に鑑み、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活

用し、これまで1食当たり40円の補助を行うことで、小学校300円、中学校350円の単価を維持していました。

しかし、物価の上昇傾向は今後も続くことが見込まれ、単価の維持が困難になることから、学校給食運営協議会における審議結果を踏まえ、4月から小学校340円、中学校390円に見直すことになりました。

なお、6年度は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用が見込まれることから、保護者負担額がこれまでと同額になるよう、当初予算案において必要な経費を計上しています。

市民体育センターの廃止

市民体育センターについては、岩沼市公共施設等総合管理計画に基づき、総合体育館への統合を検討してきました。

ここ数年は新型コロナウイルスワクチンの接種会場として使用していましたが、築50年が経過し、老朽化が著しいことから本年3月末日をもって廃止し、建物の解体を進めていきたいと考えています。

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。

健康づくりの取り組み指針

第3次岩沼市 健康づくり市民計画

ができました



▲健康づくり市民計画策定委員の皆さん

計画ができるまで

- ◆市民健康意識調査の実施（令和4年度の調査で健康課題を把握）
調査対象／20歳以上の市民2,000人、小学5年生と中学2年生の保護者801人、3歳6カ月児健康診査対象の保護者137人、市内事業所144カ所
- ◆第3次岩沼市健康づくり市民計画策定委員会を設置
市民代表、健康づくり関係団体、職域関係者、医療・教育・保健関係者18人で構成し、計画原案を策定
- ◆パブリックコメントの実施
健康増進課、市ホームページで計画の案を公表して実施



▲2月5日、健康づくり市民計画策定委員会から計画（案）が提出されました

計画の概要

基本理念～目指す姿～

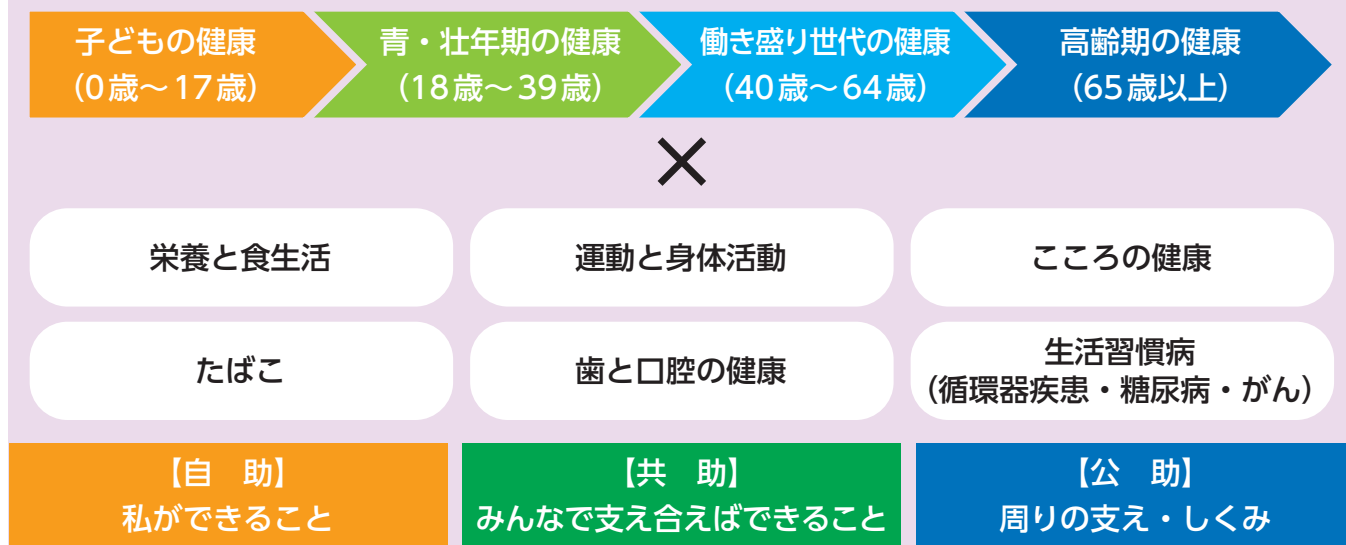
市民一人ひとりが生きがいを持ち、ともに支え合い、いつまでも元気に生活できる健幸ないわぬまにしよう

◆3つの基本方針

1. 健康寿命を延ばそう
2. 生活習慣病の発症と重症化を予防しよう
3. 健康を支え合う地域社会をつくろう

計画の考え方

市民一人ひとりが、取り組みやすいように4つのライフステージごとに6つの分野に分け、「自助」「共助」「公助」の視点で取り組みをまとめました。



今、健康づくりに取り組むことが将来の健康につながります。「できることから」「それぞれの立場で」「周りの人と一緒に」取り組んでいきましょう。

※計画概要や詳しい取り組みについては、広報いわぬま5月号と一緒に配布される「第3次岩沼市健康づくり市民計画概要版」をご覧ください。

問／健康増進課（☎23-0794）